

① 通常のケース

長期間指導で一発合格を目指す通常のケース

一般的な講座に比べて長期間（最大 16 ヶ月）の指導となっています。

良心的期間設定

技術士指導機関の多くは、下図の黄色線のように 4 月からの年度に合わせて開講しますので、筆記対策指導は 4~7 月の 4 ヶ月と、とても短いものとなっています。また、試験の前年の 9 月からスタートする一部の機関では受講料が高額となっています。

一方、本講座は、良心的価格設定で、一ヶ月あたりの受講料は格安に設定しており、かつ、合格率を高めるため、できるだけ早くスタートできるように配慮しています。最大 16 ヶ月という長期間の指導が行われるため、十分な申込書作成と過去問練習、そして 予想問題練習まで指導を受けられます。このため 合格率が格段に上がる訳です。

一発合格を目指す集中継続指導

一般的な他の筆記対策講座では 7 月で終了します。なぜなら、筆記合格率が 10~20%程度では口頭試験の予定が立たないからです。一方、本講座は、申込書対策から、筆記試験、そして口頭試験まで休み無く指導します。申込書は 筆記試験 対策の 前に行う必要があります、この時点で確実に合格できる業績を 短期間で まとめあげる必要があります。また本講座では筆記の合格率高いため、8 月からすぐに口頭試験に備えます。8~10 月は答案再現や口頭試験対策の大事な期間となります。

口頭試験対策として一般的に行われている 1 日、数時間限りの問答練習ではほとんど効果はありません。他講座で紹介されている「圧迫面接」など実際には行われません。面接官は受験者に対してリラックスして正しい試験が行えるように配慮するよう、文部科学省から指示を受けているからです。いっぽう質問内容は技術的体験や専門技術の応用に関する本質的な質問ばかりで、簡単にその場で思いつくものではありません。このため数ヶ月間の下調べと添削を繰り返して、自分独自の技術プレゼンテーションを練り上げていく必要があるのです。

そして口頭試験は場合によっては、12 月ではなく、翌年 1 月に延びる場合もあり得ます。本講座では、試験の当日の朝まで継続して指導を続け、できる限り一発合格できるよう努めています。

